名古屋工業会(本部)評議員会及び総会報告（H22 年度）

2010 年 5 月 29 日(土)に評議員会及び総会が、名古屋栄の中日パレスで開催された。

評議員会は総会での審議案件を事前に協議するもので 60 人の参加があった。その後、180 名の参加で総会、特別講演会（別途要旨を紹介する)、懇親会と和やかに開催された。大阪支部からも 10 数名が参加し、存在感があった。主な議事は下記のとおり。

1）一般法人化の検討が必要（H23.11 まで）で、今年中に定款の見直し、総会・評議員会に代わる代議員制度の導入検討を進める。このために事業目的の再確認と組織作りが重要である。

2）大学との連携強化：OB による学生向けの講演会やその他の支援事業を推進する。

3）会員増強

卒業生は 55000 人で会員は 11800 人、入会率は 21.7%と横ばいである。活動の活性化、充実化を図り、「見える工業会」、魅力ある活動にし、とくに終身会員を増やす必要がある。

4）組織の見直し等

一般法人化に伴う組織見直しとともに、ごきそ技術士会が 6 月に設立スタートすること機に、単科会、体育会 OB 会などとの連携を図る。事業活動とともに会員名簿の管理の効率化も検討する。

5）財務状況当

正味財産は約 2 億円あるが、毎年 1000 万円近く取り崩している状況である。法人化に伴う対応の他、名古屋支部、三河支部以外の支部の活動資金を増やすことに規約を変更した。

●総会の内容

篠田理事長から活動の考え方の説明、また、詳細計画は二杁常務理事から説明があった。

高橋実学長（本年 4 月就任、本会会長を兼任)）から、6 年間の中期目標計画の策定に基づき、社会に貢献できる実践的な活動を目指すことが示された。ユニバーサル化(50%以上が大学に進学)とグローバル化(教育の流動化、国際化)の中で、基盤産業の革新と新産業の創出に貢献できる人材育成、国際的視野を持った学生及び教職員の育成を進めることが示された。

その他、役員の改選、表彰など滞りなく終了した。　　(文責：山本泰三)

↑　評議員会(60 名が出席)

↑　総会（180 名が出席）

2010.5.29

↑　名古屋駅前(左がトヨタ本社ビル)

↑　名古屋駅のビル(手前が高島屋)

↑　高橋学長挨拶、左手前が篠田理事長

↑　河辺前支部長(左)に理事長から記念品贈呈

↑　特別講演(日比野守男氏　B48)
「メディアから見た日本の社会保障」

懇親会会場で：　左から３人目が高橋学長、
その右隣が日比野氏